

# 平成29年教育委員会第10回定例会会議録

開会日時 平成29年10月16日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時40分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 塩澤 雄一  
同職務代理者 齋藤 初夫  
委 員 塚本 亨  
委 員 天宮 久嘉  
委 員 日高 芳一  
委 員 大里 豊子

## 議場出席委員

・教育次長	駒井 亜子	・学校教育担当部長	平沢 安正
・学校施設課長	青木 克史	・学校施設整備担当課長	忠 宏彰
・学務課長	鈴木 雄祐	・指導室長	中川 久亨
・学校教育支援担当課長	柿澤 幹夫	・統括指導主事	塩尻 浩
・統括指導主事	大川 千章	・地域教育課長	山崎 淳
・生涯学習課長	小曾根 豊	・生涯スポーツ課長	倉地 儀雄
・中央図書館長	鈴木 誠		

## 書 記

・企画係長 富澤 章文

開会宣言 教育長 塩澤 雄一 午前 10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 塩澤 雄一 委員 齋藤 初夫 委員 塚本 亨  
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。出席委員が定足数に達しておりますので、平成29年教育委員会第10回定例会を開催いたします。

審議に先立ちまして、塚本委員が平成29年10月2日付で再任されましたので、ご報告いたします。

それでは、塚本委員より一言ご挨拶をよろしく申し上げます。

○**塚本委員** 今、教育長がおっしゃいましたように10月2日付をもって再任をいただきました。

今まで4年間で培ったものを初心に戻りながら、また、いつも区長、教育長がおっしゃっています葛飾区の子どもたち、次代を担う子どもたちのことを真っ先に考え、それと同時に教育委員会の力で、現場の先生方をサポートできる一員として、きょうお集まりの教育長以下、委員の先生方とともに任期を全うしたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○**教育長** よろしく申し上げます。ありがとうございました。

また、10月5日付で教育長職務代理者として齋藤委員を指名しましたので、あわせて報告させていただきます。

それでは、本日の議事録の署名は私に加え、齋藤委員と塚本委員にお願いしたいと思います。

議事に入る前にお諮りします。まず、本日2名の傍聴の申し出がありました。許可したいと思いますがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** それでは、傍聴を許可したいと思います。

事務局、傍聴人を呼んでください。

(傍聴人 入場)

○**教育長** 教育長から傍聴人に申し上げます。

葛飾区教育委員会傍聴規則等の規定により、傍聴人は次の事項を守ってください。傍聴人は委員会の中で発言はできません。傍聴人は静粛を旨とし、委員の言論に対して、拍手など賛否をあらわすようなことはお止めください。傍聴人は写真撮影、録音、録画を行わないでください。なお携帯電話の電源はお切りください。傍聴人はそのほか、会議の妨げとなるような行為はしないでください。なお、傍聴人にこれらの規則等に反する行為があった場合は退席していただくこととなりますので、よろしくお願い申し上げます。

本日は議案等が1件。報告事項が5件。その他が3件でございます。それでは議案に入ります。

議案第43号。「葛飾区立飯塚幼稚園の園児募集の取扱いについて」説明をお願いします。

学務課長。

○**学務課長** それでは議案第43号「葛飾区立飯塚幼稚園の園児募集の取扱いについて」ご説明

させていただきます。

まず提案理由でございます。葛飾区立飯塚幼稚園の園児募集の取扱いに定める必要があるためでございます。次に葛飾区立飯塚幼稚園の園児募集の取扱いについてでございますが、別添にその内容をつけてございますので、1枚おめくりいただきたいと存じます。

こちらの内容自体は、9月1日の当委員会でご報告させていただきました資料の中の事務局提案と同様のものになってございますけれども、改めてご説明をさせていただきたいと存じます。

葛飾区立飯塚幼稚園の園児募集の取扱いについて、今後の葛飾区立飯塚幼稚園の園児募集は、次のとおり取扱うこととする。

1. 平成30年度の4歳新入園希望者、以下「以下入園希望者」とさせていただきますが、平成29年11月1日から入園式前日までの間に15人に満たなかった場合は、平成31年度の4歳新入園児の募集を停止する。入園希望者が当該期間に15人以上となった場合は、平成31年度の4歳新入園児の募集を行う。

2. 1により平成31年度の4歳新入園児の募集を行った場合で、平成31年度の入園式前日までに、4歳新入園児が20人に満たなかった場合は、平成32年度の4歳新入園児の募集を停止する。

3. 1により、平成30年度の入園式前日の4歳新入園児数が20人以上となった場合、または、2により、平成31年度の入園式前日の4歳新入園児数が20人以上となった場合は、翌年度以降、当面の間、園児数の推移を注視しつつ、4歳新入園児を募集する。

4. 1から3の取扱いについては、葛飾区立飯塚幼稚園に限るものとし、平成29年度に行う、平成30年度の新入園児募集願書の受付時に、保護者に対して周知する。内容は以上でございます。

なお、議案の内容は以上ですけれども、先日の9月1日の教育委員会後に幼稚園の今回の募集の取扱いについて、各場面でご説明をしまりましたので、補足で説明をさせていただきます。

まず、9月13日の区議会の文教育員会でございます。教育委員会と同内容をご説明させていただきました。意見といたしましては、募集の取扱いまでの期間が、決定の期間までがやはり短いということで、もう少し様子を見られないかといったご意見。それからまた閉園となった場合の園舎の活用について利用者等に示して、廃園といったマイナスイメージを払拭する必要があるのではないかといったご意見をいただいております。

それから10月3日の日に、飯塚幼稚園の在園の保護者の方々に説明会を行いました。現在19人の保護者がいるのですけれども、内12人が参加ということでございました。こちらは、これまでの検討の経緯、それから区立幼稚園の設立の経緯等も補足しつつ、説明をさせていた

いただきました。

ご意見といたしましては、ことし入園した保護者から、昨年から閉園の話が出てきたけれども、一保護者としては、区立飯塚幼稚園がとてもよいと思っているということで、確かに人数が少ないということですが、閉園という形にされたならば、来る人はいなくなってしまうのではというご意見をいただきました。また一方で、園児募集のほうに力を入れていくことだけでも、在園児のほうにもより目を向けて欲しいというご意見もいただいております。具体的には、内部人材を活用するなどの方法で職員をもっとふやして、手厚いほうに行こうというご意見もいただいております。

それから10月8日の日曜日でございますが、水元学び交流館で地域の方向けの説明会を行いました。こちら、非常に参加者が少なくて3人ということでございましたけれども、一とおり保護者説明会と同様の説明をさせていただきまして、いただいたご意見といたしましては、今後幼稚園でも国のほうで3歳や預かり保育というものを言われているけれども、区のほうではどうなっていますかというようなお話がありました。こちらについては、区の幼稚園の設立の経緯等もありましてということで、現在のところ本区では3歳預かりといった保育をやっていく予定はありませんというご説明をしています。

それから、当日の説明会の周知が少し遅いのではないかというお話もいただきまして、また、広報の仕方についてももう少し地域にきめ細かくお知らせすることができなかつたのかというようなご意見をいただきましたけれども、広報誌のほうに私どもは今回の地域説明会を掲載させていただいておりますので、全戸配布ということでこちらでも対応させていただいたということでございました。

補足については以上でございます。ご審議をよろしくお願いいたします。

○教育長 ありがとうございます。それではただいまの説明についてご質問等はございますでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 質問ではないのですが、学務課長からる説明をいただきましたこれまでの経緯。根底にございますのは、私の記憶でございますと、平成15年の公立幼稚園のあり方検討会の提言を受け、あるいは、それまでのいろいろな地域の方との交流の中でも人口動態の推移等々の資料に基づいてお話があったと伺っております。3段階の方式のご提案ですので、後ほど補足いただきました部分でも、今後それ以上に周知方と同時に、誤解を招かない部分で子どもたちを入れたいという気持ちは十分わかりますけれども、やはり提言にございますように健全な経営ということと、幼稚園教育の質の担保という部分。やはり保育園とは違うということとを十分ご理解賜り、今後も努力をお願いしたいと思います。以上です。

○教育長 ご意見でした。そのほかいかがでしょうか。

日高委員。

○日高委員 今、塚本委員とダブりますけれども、やはり平成15年の検討会。このことは非常に意味があったと思うのです。それを区民に周知するのが十分でなかったという反省もあるかとも思いますけれども、その後、丁寧に取り組まれてきて、このような回答が出て、説明資料が出てきたということになると思います。

やはり大事なことは幼児教育の本質であって、その質をどう確保できるかということだと思いますし、それが大変重要なことだと考えます。そういう意味では、少人数ではそれが担保し切れない。そういう反省をもとに、現状をどう認識して、今後、打破していくかという、そういうことであろうかと思います。周知期間が短いというお話もありましたけれども、ある程度それを明確にしていかないと、なかなか解決にもならないということもあります。

私はこのことをしっかり周知いただいて、そしてまだ知り得ない方々がいるとしたら、これを広報か何かで知らせるようなことも一つお考えいただいと、説明会等に見えなかった方々にも周知できるのではないのか。そういう工夫が必要だと思います。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、お諮りいたします。

議案第43号について、原案のとおり可決することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 異議なしと認め、議案第43号は原案のとおり可決いたします。

以上で、議案等は終了いたします。

引き続きまして、報告事項等に入ります。報告事項等1「平成29年度小学校水泳記録会実施結果について」説明をお願いします。

指導室長。

○指導室長 「平成29年度小学校水泳記録会実施結果について」ご報告させていただきます。

9月8日金曜日に第65回葛飾区立小学校水泳記録会が、15会場に分かれて行われました。

対象は小学校5年生で1人2種目まで出場可能でございました。平成29年度の1位から3位までの記録は資料にあるとおりです。

今年度は男子25メートル自由形で花の木小学校の石井凌也さん、女子50メートル平泳ぎの江原愛乃さんが歴代1位記録を更新しました。そのほか、4つの歴代記録が更新されました。2ページ目には参考資料としまして、平成25年度から5年生で実施した歴代記録、3ページには平成21年度から平成24年度まで、6年生で実施した歴代1位から3位について掲載しております。

当日は、どの会場でも学校の代表選手として、堂々とした態度で記録会に参加することがで

きていたと聞いております。

説明は以上です。よろしくお願ひいたします。

**○教育長** それでは、ただいまの報告について、何か、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

日高委員。

**○日高委員** 当日は、私も2会場を回りました。飯塚小学校と幸田小学校でしたけれども、飯塚小学校はまさにここの記録が出されている会場で、大変盛り上がりました。子どもが盛り上がったことはもちろんですけれども、参加人数が大変多かったです。プールサイドが狭いと感じるくらいの子どもたちの数で、大変遅くまで大会が開催されておりました。

そして幸田小学校ですが、こちらの学校も非常に盛り上がっていて、そしてこの記録にも出ておりますが、大変いい成績を上げておりました。先生方も非常に協力的で、こういう大会を続けてきていることが、効率の良い運営につながり、あるいは子どもたちも安心して大会に参加できるという、そういう状況が作り上げられていると感じられました。

今後とも、このような大会を通して、子どもの運動能力が少しでも向上するように、励ましていただくとありがたいと思ひました。以上です。

**○教育長** ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

天宮委員。

**○天宮委員** 私は、末広小学校に行きました。北野小、柴原小、新宿小と金町エリアの学校だったのですけれども、本当に生徒たちの応援合戦がすごく熱心で、見ていて気持ちのいいものがありました。非常に暑い日だったのですけれども、すごくいいものを見せてもらった気がいたしました。

**○教育長** ありがとうございます。そのほかないでしょうか。

齋藤委員。

**○齋藤委員** 私は、青戸小学校で三校、上千葉小と中青戸小と青戸小だったのですけれども、始めから終わりまでずっと見させていただきました。泳げない子は途中で止まって、また泳いでというように、2回くらい立っている子もいましたけれども、全員が参加しているというのが本当によかったと感じました。

そして、5年生が参加するわけですから、小学校に入学してから全員が5年生の時に泳げるようになろうと努力をして、体力向上にもつながるだろうし、定期的にきちっと記録もとっていましたので、子どもには励みになるし、泳げない子も何とか泳げないながらも頑張ろうとする。みんな頑張っている姿が非常によかったと思ひますので、この大会を続けているということはすばらしいことだと感じましたので、また来年もどこかの学校を見せていただきたいと、しっかり子どもたちの体力向上になっていくことを期待していきたくと思ひます。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告事項等1を終わります。

続きまして報告事項等2「夏季休業中の児童・生徒の活動状況について」をお願いします。

指導室長。

○指導室長 「夏季休業中の児童・生徒の活動状況について」 ご報告いたします。

ことしの夏も都大会、関東大会、全国大会に出場し、活躍した児童・生徒が大勢おりました。

2ページ「小学校体育 個人」をごらんください。5行目、花の木小学校の飯田愛心さんが、第40回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会の50メートル平泳ぎにおいて、第2位になるという活躍がありました。

4ページ「小学校体育 団体」をごらんください。1行目、梅田小学校の児童が所属する東京都選抜が、JTB杯争奪第20回全校選抜小学生アイスホッケーサマー大会において、優勝する活躍がありました。

6ページ「中学校体育 個人」をごらんください。16行目、常盤中学校の吉岡怜さんが、第57回全国中学校水泳競技大会の水泳男子200メートル自由形において、第7位となる活躍がありました。

15ページ「中学校体育 団体」をごらんください。1行目、大道中学校が第47回全国中学校相撲選手大会において、ベスト32となる活躍がありました。

20ページ「小学校 音楽・文化」をごらんください。2行目、花の木小学校の仁宮花歌さんが第4回イモラ国際ピアノオーディションにおいて、第1位となる活躍がありました。

22ページ「中学校 音楽・文化」をごらんください。1行目、金町中学校アナウンス部が、第34回NHK放送コンテストにおいて、テレビ番組部門優良賞を受賞いたしました。

同ページの7行目から23ページまでの第57回東京都中学校吹奏楽コンクールですけれども、双葉中学校が2年連続東日本部門金賞、本田中学校、水元中学校、新宿中学校、青葉中学校、新小岩中学校が、東日本銀賞を受賞いたしました。

24ページから26ページにかけてですけれども、ボランティア活動について記載しております。ことしも介護施設や保育所などで、多くの児童・生徒がボランティア活動に参加し、人とかかわる楽しさや社会に貢献することの喜びを味わい、望ましい勤労観・職業観を育むきっかけとすることができました。

この夏季休業中の児童・生徒の活動状況の一部は、教育委員会発行の「かつしかのきょういく」に掲載する予定でございます。説明は以上です。よろしく願いいたします。

○教育長 それでは、ただいまの説明について、何かご質問等ございますか。

大里委員。

○大里委員 感想になりますけれども、体育部門では拝見しますと、フェンシングですとか、

ブラジリアン柔術、そしてアイスホッケーなど、かなりさまざまなスポーツをされている児童・生徒がいらっしゃるのだなということで感心いたしました。

そして文化・音楽部門、それからボランティア、さまざまところで葛飾の子どもたちが活躍しているなということで、大変感心いたしました。

○教育長 ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 先ほど室長からいただきましたご説明、特にスポーツ部門ですと、3年を切りましたオリンピック・パラリンピックの開催があります。特に今、この小学生、中学生のアスリートはある程度の期待感を持って、養成の選手に入るといいなと思いました。全国レベルの入賞者も出ておりますので、期待値も上がります。

それから、その背景にはやはりそれぞれの学校の校長先生以下、指導者の姿がかいま見られるのかなという特徴をちょっと感じましたので、一言だけ申し上げます。以上です。

○教育長 いかがでしょうか。よろしいですか。

では、報告事項等2を終わります。

引き続きまして、報告事項等3「平成29年度葛飾区中学校総合体育大会実施結果について」をお願いします。

指導室長。

○指導室長 それでは「平成29年度葛飾区中学校総合体育大会の実施結果について」ご報告させていただきます。

今年度も6月3日から7月9日までの期間で、中学校総合体育大会が開催されました。

2ページをごらんください。今年度の大会ではバドミントンの種目で、東金町中学校が男女ともに優勝。また体操につきましても、一之台中学校在男女ともに優勝しております。

そのほか、都大会などの都の詳細につきましては、先ほどご説明いたしました夏季休業中の児童・生徒の活動状況の報告のとおりとなっております。

説明は以上です。よろしく願いいたします。

○教育長 それではただいまの説明について何かご質問等ございますか。

大里委員。

○大里委員 バドミントンと体操に関して、男女ともに優勝された、東金町中学校、一之台中学校は、すばらしいと思います。先ほど、塚本委員もおっしゃいましたけれども、指導される先生方のご苦勞、ご尽力があったのだらうと思いました。他の各中学校ともです。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは報告事項等3を終わります。

引き続きまして報告事項等4「かつしかスポーツフェスティバル2017実施結果について」お

願います。

生涯スポーツ課長。

**○生涯スポーツ課長** それでは報告事項等4「かつしかスポーツフェスティバル2017の実施結果」につきましてご報告いたします。

「実施日時」「会場」につきましては記載のとおりでございまして、平成29年10月9日月曜日、体育の日、午前9時30分から奥戸総合スポーツセンター陸上競技場をメイン会場とし、区内各スポーツ施設で開催いたしました。

教育長、各教育委員の皆様を初め、多くの来賓の方々のご出席をいただきまして、ありがとうございました。

3の「天候」につきましては、快晴で絶好のスポーツ日和となりました。

続きまして、「参加人数」でございますが、延べではございますけれども40,288人で、昨年度と比較いたしますと、3,800人強増となりました。

陸上競技場をメイン会場とし、各会場では誰もが気軽に参加できる体験コーナーやウォークラリーでは多くの区民にスポーツの楽しさを味わっていただき、フードコートでも暑さも手伝ってか、多くの方でにぎわっていました。

参加人数の内訳につきましては、記載のとおりでございます。また2枚目になりますが、各ブースごとの参加人数を記載させていただきました。

5「地区別対抗競技結果」につきましては、総合優勝が高砂地区、準優勝が新宿地区、第3位が東立石地区でございました。

また、救護及び迷子の件数は、救護が8件、迷子が4件で、合計12件でございました。

7「フードコートの出店」では、奥戸福祉館、青戸しょうぶ、かがやけ共同作業所を初めとする福祉関係9団体、東京聖栄大学、葛飾区商店街連合会推薦組合、公募店舗を含め、全27店舗の出店がございました。

ご報告は以上でございます。よろしく願います。

**○教育長** それではただいまの報告について、質問等ございますか。

齋藤委員。

**○齋藤委員** 毎年開催される、素晴らしいイベントだと思います。昔からずっと続いているのですが、特にことは3,800人ふえているということで、区民も本当に楽しみにしているイベントだと思います。

頑張ってくださいまして素晴らしいですけども、1点だけ。今後の参考にしてもらえればと思います。

実は、毎年障害者のパン食い競争がありまして、集合場所に早目に集まって、そこで参加者の配券があるのです。障害者が終わった後に、一般の方に入口で配っていたので、障害者は年

に1回親子で楽しめるというのは、このときしかないぐらいで、みんな親子で参加しているのです。

ところが今回は一般の方に先に配ってしまったものだから、障害者の方の中に、寸前に来た時にはもう券がなかったという人がいて、出場できなかった方がかなりいらっしまった。すごく残念がっていました。

ですから、せっかく楽しみに来ているので、恐らくいろいろな役員の方がいて、初めての担当の人もいらっしまったでしょうし、間違ったのかもしれないけれども、そういったところにも少し気を配っていただきたいと。せっかく楽しみにしているイベントですので、配券の仕方とか、みんなが楽しめるように来年はご配慮いただければと思いますので、よろしくお願いします。

**○教育長** そのほかいかがでしょうか。

塚本委員。

**○塚本委員** 地区別対抗競技ですが、綱引き、大縄跳びなど、校長先生方がみずから参加して、地域の方と一緒に汗をかいていらっしまった。学校と地域との協働の部分がかいま見られた思いですね。本当に恵まれた充実した1日となったと思いました。以上です。

**○教育長** そのほか、いかがでしょうか。

天宮委員。

**○天宮委員** 1週間前とは思えない、日差しの強い中での開催でしたが、葛飾区19地域が集まる、本当に全区的な運動会ですね。私の地元ではスポーツフェスティバルのことを「葛飾区大運動会」と呼んでいまして、確かにそう言われればそうだなと思います。

区内の全地域が集まるということは余りないので、しかも親子そろってというのですから、いろいろな意味で楽しい、いいイベントだと思いました。

**○教育長** ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは報告事項等4を終わります。

引き続き、報告事項等5「東京都スポーツ功労賞の受賞について」をお願いします。

生涯スポーツ課長。

**○生涯スポーツ課長** それでは、報告事項等5「東京都スポーツ功労賞の受賞」につきまして、ご報告させていただきます。

東京都スポーツ功労賞の今年度の受賞につきましては、スポーツ功労者では葛飾区弓道連盟理事でございます工藤宜様が、協会・連盟等のスポーツ団体では、大山清様が会長でございます葛飾区アーチェリー協会がそれぞれ平成29年10月13日金曜日に、東京都庁都議会議事堂1階「都民ホール」におきまして、受賞いたしました。

スポーツ功労者で受賞いたしました工藤様のこれまでの功績につきましては記載のとおりで

ございまして、昭和 60 年から葛飾区弓道連盟の指導者として 32 年間の現場指導実績があり、昭和 62 年から同連盟理事、副理事、理事長を歴任しております。

葛飾区スポーツ推進委員として、また一般社団法人葛飾区体育協会管理委員長として活躍されております。平成 22 年に設立いたしました「オール水元スポーツクラブ」では、設立準備委員会から携わり、現在は理事としてクラブの普及・発展にご尽力いただいております。弓道の発展のほか、地域スポーツクラブの振興に貢献した功績が評価され、今回の受賞となりました。

次に協会・連盟等のスポーツ団体で受賞されましたアーチェリー協会のこれまでの功績につきましても記載のとおりでございまして、昭和 40 年に設立以来、愛好者の底辺拡大のため初心者教室を週 1 回、一般開放日の指導員配置を週 3 回、年間を通じて継続開催をしております。

昨年度から実施しております「区民健康スポーツ参加促進事業」では、ジュニアアーチェリー教室を企画・開催するとともに、スポーツを通じた青少年育成といたしまして、社会のルールやマナーの向上に努め、人間育成にも寄与しております。

協会では誰でもが参加できることを一義に活動を展開し、身体障害者の会員 7 名を含め総勢 70 名が在籍して、活動をしております。アーチェリー活動を通じて、地域スポーツの普及・発展に努めた功績が評価され、今回の受賞となりました。

ご報告は以上でございまして。よろしく願いいたします。

**○教育長** ではただいまの報告について、何かご質問等ございますか。よろしいですか。

それでは、これで報告事項等 5 を終わります。

ここで、何かご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

塚本委員。

**○塚本委員** 何日か前か、ちょっと日付は定かではないのですが、いわゆる図書館の文庫本の扱いについてということで、全国の図書館長、あるいは司書の方を集めた会合の中で、文芸春秋の社長さんが一応今のデジタル化された文庫、それと文庫本の扱いについて、これはあくまでも願望だと思うのですが、特に作者の方ですとか、文庫本の図書館における取扱いで基本的には文庫本を置かないでほしいとの発言があったということです。

そんなようなコメントがニュース映像のほうに出ていましたので、ただ、やはりそういった意味では私個人では、リーズナブルなものほどんど活用していただきたいとは思いますが、区立の中央図書館を初めとして、全ての記録があるのが図書館の性格だと思うのですが、何かその辺の反響があったのであれば若干伺いたいと、突然の質問で申しわけないのですが。

**○教育長** 中央図書館長。

**○中央図書館長** そちらのほうの発言は、第 103 回全国図書館大会の東京大会というところの 10 月 13 日に分会が 23、4 ほど行われておりまして、そちらの内の 21 分会「出版と図書館」というところで発言をされたものでございまして。当日、NHKでも放送されてございました。

ただ、こちらの依頼につきましては、2年前にも似たような発言がございまして、それ以来議論は進んでいないという状況が全国的にございます。今回も依頼というような形で発言がされておりまして、具体的には各図書館に対して、実際に依頼が来ることではないと思われまので、私どものほうでは状況を見ながら、文庫本につきましては、引き続き貸し出しをしていきたいと考えてございます。

ちなみに、区内の図書館の文庫本なのですが、約97,000冊ほどございます。以上でございます。

○塚本委員 ありがとうございます。

○教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは「その他」の事項に入ります。「その他」について、教育次長、お願いします。

○教育次長 では、「その他」の事項についてです。

まず今回は資料配付が1枚ございます。

次に2の出席依頼でございます。本日2件ございます。まず始めに11月20日午前9時30分から特別支援学級小・中連合学芸会につきましては齋藤委員に、22日の午後4時20分から読書感想文コンクール表彰式につきましては大里委員にお願いいたします。

次回以降の教育委員会の予定については記載のとおりです。以上でございます。

○教育長 それでは、平成29年教育委員会第10回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時刻10時40分